

決めろ!!スマッシュ 片岡中学校・女子ソフトテニス部

片岡中学校・女子ソフトテニス部は、二十八年七月に地区総体で団体戦・個人戦ともに優勝しました。(二年連続)。現在の部員数は二十四人(三年生十一人、二年生二人、一年生十一人)です。活躍について、顧問の海瀬裕之先生と部長の大嶋乃愛さん、三年生の部員の皆さんにお話を伺いました。

●練習はどのように?
水曜日以外は、朝に三十分と放課後に練習しています。土、日は練習試合を宇都宮など、いろいろな中学校とすることもあります。

●試合のルールは?
四点が一セットになら先に四セット取った方が勝者になります。試合は二人一組で行います。

●入部の動機は?
★見学の時に楽しそうだったから
★姉がソフトテニス部でその姿がいき

- 一番嬉しかったこと**
- 優勝旗を受け取ったこと(大嶋)
 - 団体と個人での優勝(石塚)
 - 3年生で優勝したこと(小松原)
 - 2年、3年と続けて優勝したこと(築瀬)
 - 皆と一緒に練習したこと(阿美)

- 一番悔しかったこと**
- 3年生最後の個人戦で県大会出場を果たせなかったこと(岡)
 - ライバルだった相手ペアに一度も勝てなかったこと(白須)
 - いつも勝っていた相手に最後の試合で負けたこと(菅野)
 - いつもの自分の力を出せず負けたこと(石塚美・岡崎)
 - 試合で練習の成果を発揮できずに負けたこと(小口)

きしていたから
●部長として心掛けていることは?
誰からも応援されるチームを目指しています。

●優勝時のエピソード
全員が丸くなって、優勝旗を一人一人持ちながら、それぞれが喜びをコメントしました。



●海瀬先生のコメント
関東大会出場を目指して日々一生懸命練習に取り組み、さまざまな困難を乗り越えて成長していく生徒の姿から、私自身多くのことを学びました。

保護者をはじめ、支えてくださる多くの方への感謝を忘れず、これからも本気で前に進んでいきましよう。(S・M)

相撲でも大活躍!! 矢板中学校・柔道部

体型からは想像できないほど物静かですが、気迫・闘志に満ちた矢板中学校・柔道部の皆さんは、相撲大会にも出場しています。県大会で優秀な成績を残し、四年連続で関東大会に出場するなど、大活躍しています。

●創部はいつ頃ですか?
今年で、矢板中学校創立七十周年になります。当時のことは明確ではありませんが、柔道部の発足は、同時期、または六十年は超えていると思います。

●部員数は?
現在の部員は、十一名(三年生四名、二年生二名、一年生五名)です。

●練習はどのようにやっていますか?
柔道部の今年の入部生は五人中四人が初心者なので、ケガ防止もあり、受け身から始まり、回転

●決め技は?
柔道は、大腰、内股、払い腰、一本背負い、大外刈り、とそれぞれ得意技が異なります。

●相撲大会の結果は?
団体戦では、県大会で準優勝を果たし、四年連続で関東大会に出場し、頑張りました。また、個人戦では、三

運動、礼法、型と進めていきます。

練習は基本的に毎日、夏場は十六時半〜十八時半まで、冬場は十六時半〜十七時十五分まで行います。月に二〜三回程度、柔道の出稽古もしています。

相撲大会の三カ月前から、相撲の練習を始めます。本校には土俵がないので、柔道場で相撲の練習をしています。また、氏家中学校・塩谷中学校と一緒に練習試合も行っています。



●末廣先生からの一言
柔道に加え、相撲でも練習を頑張り、素晴らしい成績を残してくれています。練習を積み、ぜひ五年連続での関東大会出場、そして目標の全国大会への出場も達成してほしいですね。また、柔道部としても、相撲に負けないような結果を出せるように頑張っていきたいと思います。(M・W)

年生の大島啓彰くんが県大会で三位となり、あと一勝すれば、全国大会の出場権を獲れた、悔しい結果となってしまいました。